

全国高速道路建設協議会
提言書

高速道路のあり方検討有識者委員会

座長 寺島 実郎 様

高速道路のあり方検討有識者委員会におかれましては、大畠章宏国土交通大臣の「日本の将来を見据えた100年後、200年後を貫く、日本の高速道路のあり方を検討する」という方針の下、鋭意検討されていることに対し、深く敬意を表します。

全国高速道路協議会では、秋頃を目処とされている高速道路のあり方検討有識者委員会のとりまとめに際しては、地方の総意として以下の項目に留意していただくよう、提言します。

記

一、災害に強い国土を構築するため、リダンダンシーの確保は不可欠であり、未だ多くのミッシングリンクが残されている1万4000キロメートルについては、国の責任で着実に整備が推進されるよう、明確な方針を示すこと

一、災害時の緊急輸送路確保と渋滞多発区間の解消のため、暫定2車線区間の4車線化等の整備をすること

一、整備手法については、整備のスピードアップを図るとともに、地方負担の軽減にも配慮するため、例えば有料事業の活用や償還期間の延長など、柔軟に対応すること

一、利便増進の外、災害・減災対策のためにも、ネットワーク機能の向上は不可欠であることから、スマートICなど出入箇所を増設すること

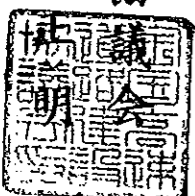
一、今後の高速道路の料金制度については、負担の公平性の原則に則り、国民の利便性向上に資する一体的な料金体系を構築すること

一、最終取りまとめにあたっては、地方の意見を十分に聞くこと

↓各都道府県の意見を参照

平成二十三年八月三日

全国高速道路建設協会
会長 横内



高速道路に対する全国の声

全国高速道路建設協議会まとめ

平成23年8月3日

